

令和2年度 認知症介護研究・研修東京センター 運営事業費による研究

「地域密着型サービスの質の向上・人材確保につなげる管理者研修改善方法の研究(予備的検討)」

認知症対応型サービス事業管理者研修に関する情報収集

目的

地域密着型サービスの管理者(以下「管理者」となる者に修了が義務付けられている「認知症対応型サービス事業管理者研修(以下「管理者研修」)」は、標準カリキュラムを踏まえながら、地域の実情に応じた内容で実施されている。管理者には、自らが良質なケアを提供できることに加えて、人材の育成や定着に向けた取り組みに力を注ぐことも求められており、管理者研修修了後の取り組みによって、質の高いサービスの提供につながっている事業所がある一方、管理者の交代や職員の入退職が頻繁に繰り返されている事業所もある。

そこで、管理者研修の標準カリキュラム改訂を見据え、認知症ケアの質を向上しながら人材が定着するための方法を明らかにすることを目的とし、目的達成のための予備的な取り組みとして、各地で実施されている管理者研修に関する情報を収集した。

管理者研修 標準カリキュラム 計540分	
科目	時間数
1 地域密着型サービス基準	60分
2 地域密着型サービスの取組み	90分
3 介護従事者に対する労務管理	60分
4 適切なサービス提供のあり方	330分

概要

主な事業内容

都道府県・指定都市や研修実施機関のホームページにアクセスし、令和2年度の研修実施要項・カリキュラム等を収集したうえで、それらを基に、研修日数や科目ごとの時間数等を集計した。

主な事業結果・成果

67都道府県・指定都市のうち、66都道府県・指定都市の研修実施要項・カリキュラム等を収集した。

- 研修1回あたりの日数 最も多いのは2日間(54件, 81.8%)、次いで3日間(8件, 12.1%)
- 研修1回あたりの講義・演習の時間数 540分以上実施している都道府県・指定都市 57件(86.4%)
- 他施設実習・現場体験等の実施 有り 2件(3.0%) 無し 64件(97.0%)
- 動画の配信やオンラインシステム(Zoom等)の活用 有り 12件(18.2%) 無し 54件(81.8%)
- 科目ごとの時間数 * 時間数の記載がなかった都道府県・指定都市を除く

科目名	標準カリキュラムより 少なく実施	標準カリキュラムどおりに 実施	標準カリキュラムより 多く実施
1 地域密着型サービス基準	4	35	18
2 地域密着型サービスの取組み	5	27	22
3 介護従事者に対する労務管理	1	23	33
4 適切なサービス提供のあり方	13	24	22

- 標準カリキュラム以外の科目 管理者の役割や心構えに関する科目、認知症の人の家族を支援する方法に関する科目等が挙げられた。

【研修の時間数について】

標準カリキュラムで示されている「講義9時間(540分)」以上実施している都道府県・指定都市が多い。地域の実情に応じて、科目ごとに時間数を増やしたり、必要と思われる科目を追加して実施している。

【動画の配信や同時に双方向で意思疎通等できるオンラインシステム(Zoom等)の活用について】

令和元年度の活用状況を把握していないため推測ではあるが、新型コロナウイルス感染症の影響により集合形式での実施が困難と判断し、動画配信やオンラインシステムの活用を計画したと思われる。

感染対策として活用する都道府県・指定都市が、次年度以降さらに増えるのではないかと考えられる。

成果物

当センターウェブサイトにて、報告書のPDFを掲載。